

共同参画だより

令和5年7月
No. 101
常総市人権推進課

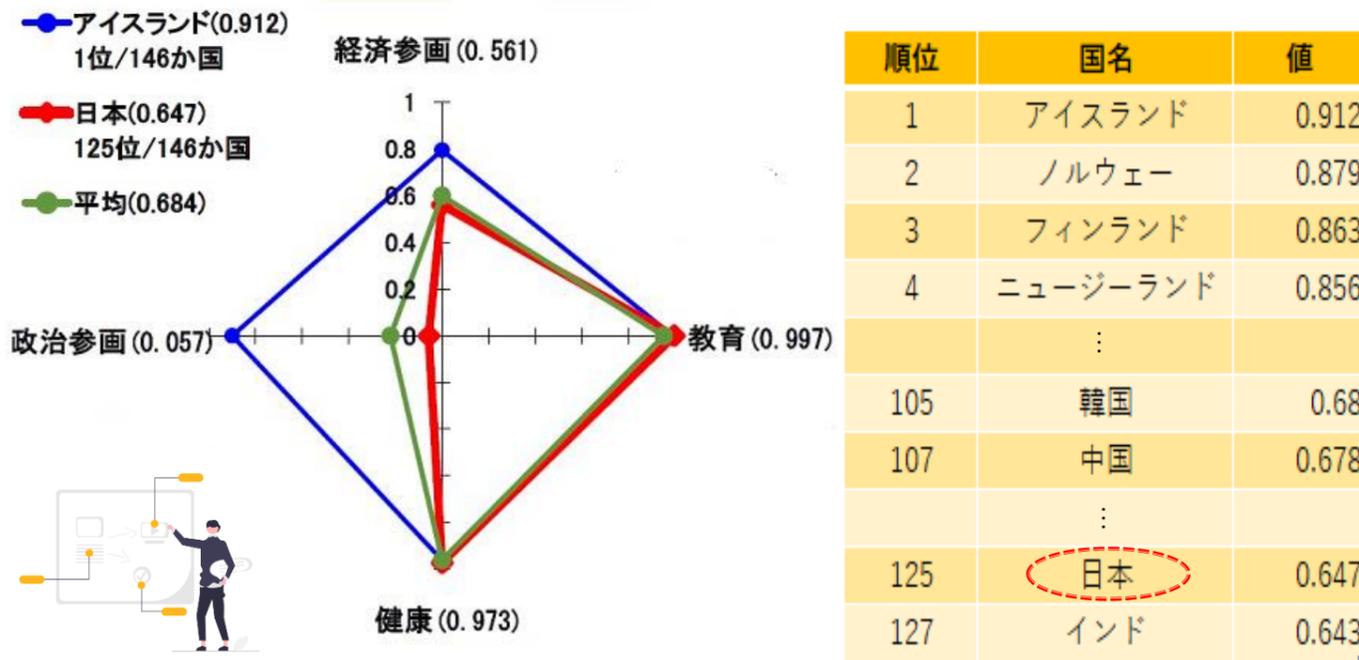


- ▶世界ジェンダーギャップ指数最新情報
- ▶ジェンダーギャップ解消のために

1 世界ジェンダーギャップ指数最新情報

ジェンダーギャップ指数とは、世界経済フォーラムが毎年発表している、世界各国の男女格差について数値化したものです。2023年の最新のジェンダーギャップ指数が6月に発表されましたが、日本は昨年の116位から順位を落とし125位と過去最低の結果でした。

ジェンダーギャップ指数は、経済・政治・教育・健康の4分野についての統計データをもとに算出され、4分野それぞれのスコアの平均値が、ジェンダーギャップ指数となります。1に近いほど平等であり、0に近いほど不平等である状態と言えます。



※内閣府男女共同参画局 HP より

各分野についてどのような点を評価しているかは以下のとおりです。

- 経済：労働参加率・同一労働における賃金・収入格差・管理職の男女比・専門技術の男女比
- 政治：議会や閣僚など意思決定機関への参画
過去50年間の国家元首の在任年数における男女差
- 教育：識字率・初等教育就学率・中等教育就学率・高等教育就学率の男女比
- 健康：出生時性比・平均寿命の男女差

ジェンダーギャップを解消するためには、社会全体の意識改革と政策の推進が非常に重要です。ジェンダーギャップ解消のために私たちにもできる取組を次に挙げていきたいと思ひます。



2 ジェンダーギャップ解消のために

ジェンダーギャップを解消することで、男性と女性が平等な機会を持ち、個性や能力を発揮できる社会を実現することができます。また、女性の活躍という資源を最大限に活用し、持続可能な発展や促進も可能になるでしょう。男女共同参画は社会の発展において不可欠な要素であり、政府や地域社会、企業など、様々な場での取り組みが求められています。

家庭の中から共同参画

01

- ① 家事・育児の分担
誰でも最初から家事や育児が得意な人はいません。新しいことにチャレンジしてみようという気持ちで挑戦してみましょう。「やり方が違う」と思わないで見守る気持ちも大切です。
- ② 家庭内のコミュニケーション強化
夫や妻だけでなく、こどもも巻き込んでお手伝いや家事について話してみるのもいいでしょう。小さな頃から男女共同意識を育てていくきっかけにもなります。



職場の中から共同参画

02

- ① ワークライフバランスを考える
女性が出産や育児により一時的に職場を離れることが多い一方、男性の育児休暇取得等はあまり進んでいません。フレックスや時間休暇等を活用して長時間労働を見直してみる意識改革から始めてみましょう。
- ② 男女共同参画に関する情報にふれてみる
職場内での男女共同参画に関する情報を提供することで、従業員の意識を変えるきっかけになります。定期的な情報の発信や研修等への参加から始めてみましょう。

地域の中から共同参画

03

- ① 地域の行事や会議に参加
最初からリーダーを務めるのは難しいかもしれませんが、まずは地域の行事に参加することから始めてみるのもいいかもしれません。市役所で開催している男女共同参画講演会やセミナーに参加してみてもいいかもしれません。
- ② 性別ではなく自分ができていること
性別にかかわらず、適正にあった仕事をするのが理想。「自分が何ができるのか、得意なのか」という思考をベースに地域活動に取り組んでみるのもいいかもしれません。

日本はジェンダーギャップ平等の向上のために、取組はしていますが、根深い問題であるため、完全に解消するには多くの時間が必要です。男女共同参画社会の実現は、社会全体の発展を促すものであり、より平等で持続可能な社会を築くために必要な取り組みです。私たちだけでなく、次の世代がより生きやすい社会とするためにも出来ることから始めてみませんか。

